学校番号	3017

令和２年度　公民科

教科	公民	科目	政治・経済	単位数	２単位	年次	３年
校内名称	政治経済／選択政経（文系） 倫理政経（理系）			ユニット数	1.5	必選別	選
使用教科書	改訂版　政治･経済（数研出版）						
副教材等	政治･経済資料集2020（清水書院）　改訂版政治・経済整理ノート(数研出版)						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

１年の「現代社会」、２年後期の政治分野に続いて、３年からは経済分野に入ります。経済は「少し難しい」と感じる人も多いようですが、経済は現実の社会で実際に行われている活動であり、日々の日常生活にも関係のあることです。「政治経済」すべてに共通していることですが、現実の社会に興味・関心を持って、さまざまな情報を得ることが学習を容易にする近道です。また、現在の日本では、グローバル化が急速に進んでいます。国際経済にも苦手意識を持つことなく、積極的に学習してください。

ノートの空欄を埋めることだけが授業を受ける目的ではありません。社会に出てからも使える知識･感性を身につけるために、授業が行われているということを踏まえて授業を受けてください。もちろん１月の大学入学共通テストで高得点を目ざすことも目的の一つにはなるでしょう。

「政治経済」は現実の社会で実際に起こっていることを扱う科目です。まずは、できるだけ新聞を読み、テレビのニュースを定期的に見て、インターネットで検索してみましょう。政治と経済は日々変化しています。多くの情報に接することが、最終的に大学入学共通テストでも役に立ちます。

なお、選択政経を受講する生徒は、政治分野については通常授業では扱わないので、夏季休暇中に行われる補講を必ず受講して補うようにして下さい。

2　学習の到達目標

人間の尊重と科学的な探求の精神に基づいて、広い視野に立って、現代の社会と人間についての理解を深めさせ、現代社会の基本的な問題について主体的に考え公正に判断するとともに、自ら人間としてのあり方生き方について考える力の基礎を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。

3　学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a:関心･意欲･態度	b:思考･判断･表現	c:資料活用の技能	d:知識･理解
観点の趣旨	現代の政治・経済・国際経済・国際政治 に対する関心を高め、自ら意欲的にさまざまな課題について対応や解決策を追求する。 それとともに、国家･社会の一員として平和で民主的な社会生活の実現と推進について、客観的に考察してその実現に向けて努力する。	現代の政治・国際経済・国際政治に関わる事柄から課題を見いだし、その本質や特質、望ましい解決のあり方について広い視野に立って多面的･多角的に考察する。 社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。	現代の政治・経済・国際経済・国際政治に関わるさまざまな資料を、マスメディアなどを通して収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。	現代の政治・経済・国際経済・国際政治に関する基本的な事項についてその知識を身につけている。 また、それらの本質や特質および動向を捉えるられるように。基本的な概念や理論・仕組みを理解する。
評価方法	授業中の取り組み姿勢	定期考査 ワークシート レポート	定期考査 ワークシート レポート	定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
評価点の割合は、考査点９５％程度、平常点５％程度です。

4　学習の活動

期間		単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
政経	選択			a	b	c	d		
前期中間考査まで		現代経済のしくみ	経済活動の意義と経済体制(歴史的) ・人間と経済活動 ・資本主義経済の発展と変容 ・経済活動の主体 現代経済のしくみ(理論的) ・市場経済のしくみ ・物価の動向 ・国民所得と経済成長 ・財政のしくみと租税 ・金融のしくみと働き	○		○	○	a.　さまざまな経済活動や経済理論に対する興味・関心を高めている。 c.　学習した経済理論などを、現実の経済活動に関連づける。 d.　市場経済・財政・金融のしくみなどを理論的に理解する。	ワークシート (自宅学習の課題などを含む) (以下同) 定期考査
前期期末考査まで		日本経済と福祉	・戦後日本経済のあゆみ ・中小企業と農業・食料 ・公害防止と環境保全 ・消費者問題と消費者保護 ・労使関係と労働市場 ・少子高齢化と社会保障	○		○	○	a.　日本経済の歴史や現状について、興味や関心を高めている。 c.　中小企業・農業・環境問題・消費者問題・労働問題・社会保障などについて、現状を把握する。 d.　日本経済の歴史や現状についての知識を高め、さまざまな課題を理解する。	ワークシート 定期考査
2年次に学習済み	夏季休暇中の補講	民主政治の基本原理と日本国憲法	民主政治の基本原理 ・政治と法 ・民主政治のあゆみ ・民主政治の基本原理とその展開 ・政治体制の比較 日本国憲法と基本的人権 ・日本国憲法の基本的性格 ・基本的人権の保障 ・日本国憲法の平和主義 日本の政治機構 ・国会のしくみと役割 ・内閣と行政機構 ・裁判所しくみと人権保障 ・地方自治のしくみと住民自治 政治参加と民主政治の課題 ・戦後政治と政党 ・選挙制度のしくみ ・世論と情報化社会				○	d.　短期間で、政治分野をすべて学習するため、知識の確認が中心となる。	ワークシート 実力考査 確認テスト
後期中間考査まで		国際経済・国際政治	国際政治の動向 ・貿易と国際収支 ・国際経済のしくみ 国際経済の課題と国際協力 ・地球環境と資源・エネルギー問題 ・発展途上国の経済と経済協力 ・国際経済における日本 国際政治の動向 ・国際社会の特質 ・国際社会と国際法 ・国際社会の組織化 ・戦後国際政治の展開 国際社会の課題と日本の役割 ・核兵器の廃絶と軍縮問題 ・地域紛争と人種・民族問題	○		○	○	a.　国際化が進行する中で、国際経済や国際政治に対する興味・関心を c.　高める。 d.　国際化・グーロバル化を見据えて、国際社会の情報を積極的に捉えられるようにする。	ワークシート 定期考査
後期期末考査まで		第3編現代の諸課題	持続可能な社会の形成を目指して 現代日本の諸課題 　少子高齢化と社会保障 　雇用と労働をめぐる問題 　農業と食糧問題 　大規模自然災害とエネルギー問題 国際社会の諸課題 　地球環境と資源・エネルギー問題 　国際経済格差の是正と国際協力 　人種・民族問題と地域紛争		○	○		b.　これまでの学習してきたことを踏まえて、現代日本や国際社会の諸課題について、その解決に向けて、総合的な観点から考えて、より考察を深化・発展させる。 c．それぞれの諸課題については、対立点を「トレード・オフ」の関係としてとらえるのではなく、解決方法を見つけるためにさまざまな資料を客観的にとらえるようにする。	ワークシート レポート

※　表中の観点について　　a：関心・意欲・態度　　b：思考・判断・表現
c：資料活用の技能　　d：知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。